

中村清志さん講話「世の中には2種類の間がある」の感想文から

○中村さんの話を聞いて、私は考えが変わりました。今までつらいことがあっても、私は親に迷惑をかけるから嫌なことがあっても何も言わないようにしてきました。でも、話を聞いて「私は一人じゃない。みんながいるんだ。」と分かりました。私も、あの歌のように「前を向いて歩こう。」「つらい時があったら下を向いて思いっきり泣いてもいい。」と思いました。これから、つらそうで、かわいそうでいじめられている人がいたら、勇気をもって「やめよう」と言って、怖くても強い心で助けたいと思いました。この勇気で人の命を救えるのだということを忘れずに生きて、人に伝えることができるようにしたいです。(1年生)

○僕は、今日の話で一番なりたかったのは「チャンピオン」です。ずっと前からチャンピオンというのは、一番の勝者のことだと思っていたので、中村さんのお話を聞いて驚いたのと同時に、これなら僕にもできるかなと思いました。僕は人に誇れるようなことはできないし、迷惑ばかりを周りの人にかけているけれど、意見を言いにくい人の代わりに僕がその人のチャンピオンになろうと思います。(中略)僕はこれまで感想文を書くことが苦手でしたが、中村さんの話の感想は考えるよりも先に手が動きます。僕は変わろうと思います。(2年生)

○中村さんのお話で一番心に残っていることは、『自分のまわりにいる3メートル以内の人を幸せにする』ということです。3メートルというのは、けっこう広いと思います。隣にいる友達と話していて笑顔にすることはできるけど、広い範囲は難しいんじゃないかな?と思いました。(中略)私は、時に人に強くものを言ったりして人を傷つけてしまうことがあります。だから、自分の発する言葉が本当に誰も傷つけないかを考えてから言葉を出そうと思います。これが、私なりに『自分のまわりにいる3メートル以内の人を幸せにする』第一歩です。まわりの人を幸せにすることは難しいことだと思います。でも、私は自分のまわりの人だけを幸せにするのではなく、世の中のみんなを幸せにしていけるような人になりたいです。だから、自分のいけないところを振り返ってなくしていきたいです。(3年生)